

## 出題範囲とシラバスの一部改訂（iパス 6.4）の情報

IT パスポート試験（iパス）の出題範囲とシラバスの改訂が、IPA（独立行政法人 情報処理推進機構）より発表されています。

ここでは、改訂のポイントと追加用語などについて解説します。

### 【改訂のポイント】

#### ◆改訂の目的

今回の改訂は、2024年の法改正により「プロバイダ責任制限法」が「情報流通プラットフォーム対処法」となったことによる見直しとなります。

#### ◆改訂の内容

シラバスの「その他の法律・ガイドライン・情報倫理」に記載があった「プロバイダ責任制限法」が削除され、「情報流通プラットフォーム対処法」が追加されています。

その他は従来どおりで変更はありません。

### 【試験対策】

法改正に伴う修正であり、出題内容に大きな変更はありません。これまでの教材の範囲と過去問題によりしっかりと対策しておきましょう。

### 【追加された用語・項目】

#### ◆ストラテジ分野

##### 情報流通プラットフォーム対処法

2024年に「プロバイダ責任制限法」が一部改正され「情報流通プラットフォーム対処法」となりました。この法律は、インターネット上の違法・有害情報の流通が社会問題となっていることへの対策として、

- ① プロバイダ等の大規模プラットフォーム事業者が担うべき責任要件
- ② 発信者情報の開示請求や裁判手続き
- ③ 削除対応の迅速化や運営の透明化など、事業者が行うべき措置

について定めています。

「プロバイダ責任制限法」からのおもな変更点には、プロバイダ等の事業者に対し、専門的人材の配置や削除依頼への迅速な対応といった体制の整備を求めていることと、裁判手続きを整備し、被害者が発信者情報開示を請求しやすくしたことなどがあげられます。